



健康・医療新産業協議会 資料

資料 1 2

未病指標及び未病産業力の活用について

神奈川県知事 黒岩 祐治

2025.5.30

「健康・医療戦略」(第3期)

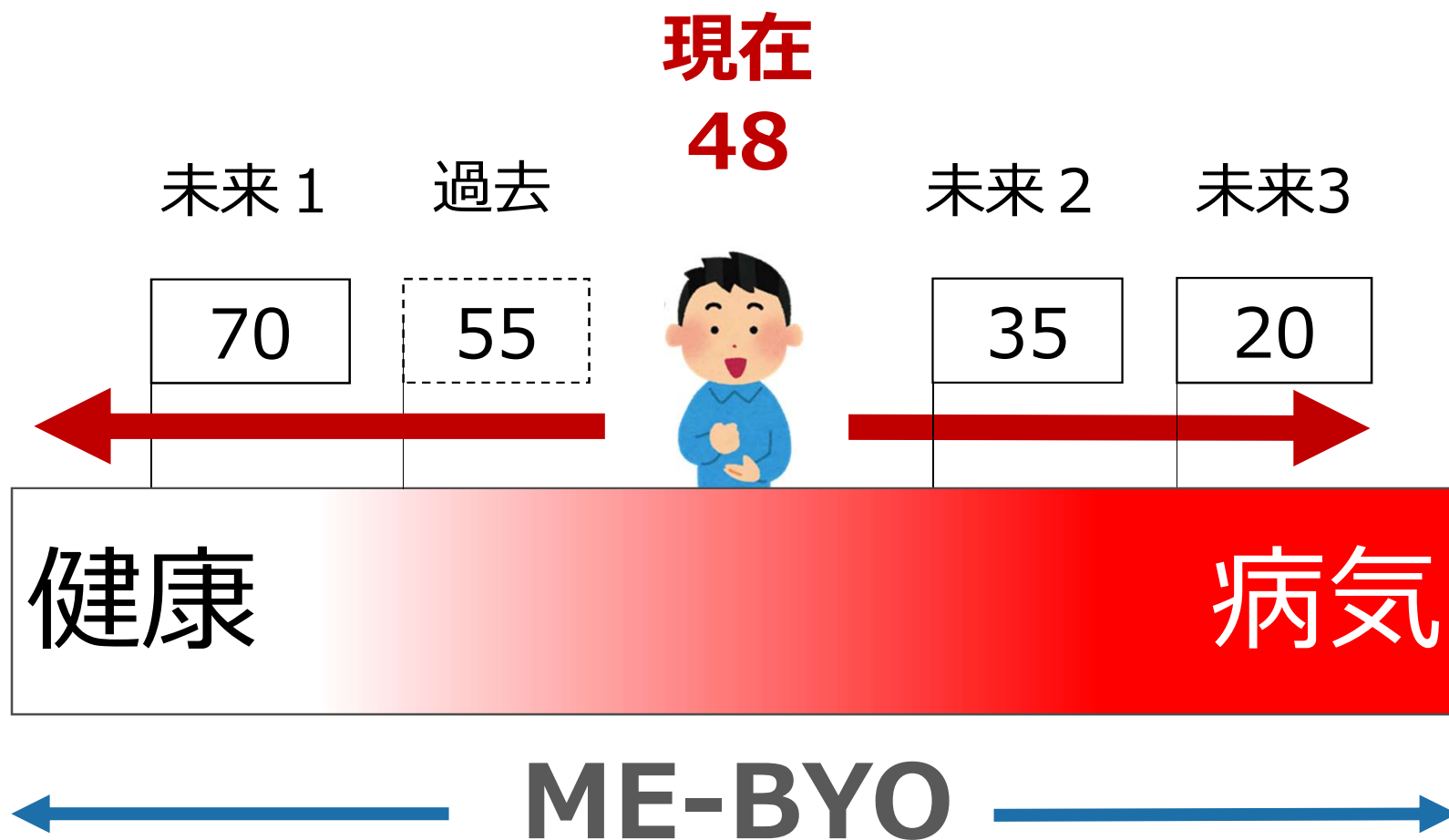
(令和7年2月18日閣議決定)
II 現状と課題 6、17頁より省略引用

健康と病気を連続的に捉える

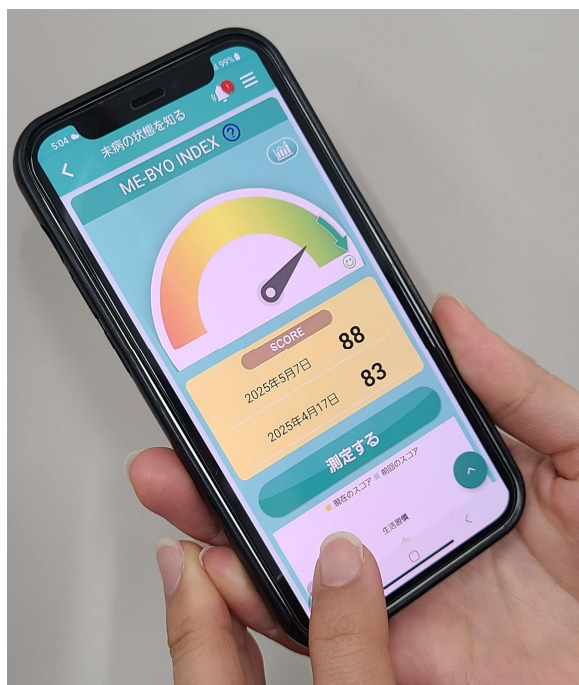
「未病」の考え方やその取組みを進めるために、
数値等の指標を活用することが重要。

ヘルスケアサービスに関する科学的エビデンスの構築、
消費者の適切なサービス選択に資する基盤を構築。

1 - 1 未病指標[®]



1 - 2 神奈川県未病指標[®]



総合的に評価（0-100の総合スコア）

4 領域ごとの測定・評価（★3段階）

生活習慣



認知機能



生活機能

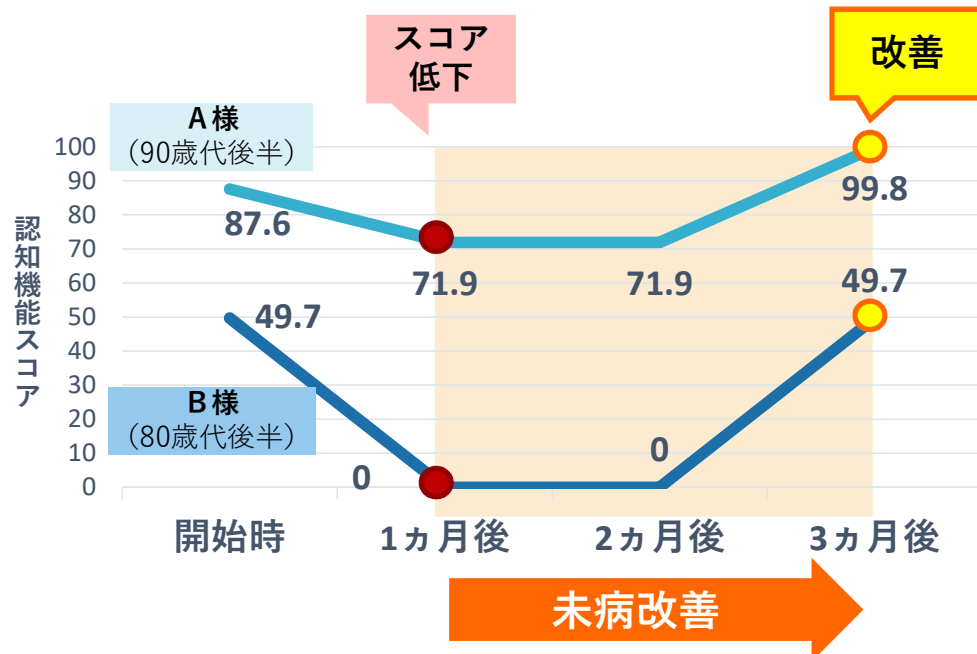


メンタルヘルス
・ストレス



心と身体と脳の全体の状態を、スマートフォンで日常的に測定

1 - 3 未病指標の成果：早期発見と行動変容



関係者での集中的な生活全般フォロー、夜の覚醒回数や日中の転倒リスクを特に注意観察するなどの早期対応



介護付き有料老人ホーム
「すいとピー三ツ境」
(横浜市瀬谷区)

高齢者施設で、月一度、
未病指標を測るようにしたことで、
認知機能の低下を早期に発見

家族・施設管理者・かかりつけ医で**未病改善**を行った結果、
5ヵ月経過後も、日常生活動作の低下もなく**健やかに生活！**

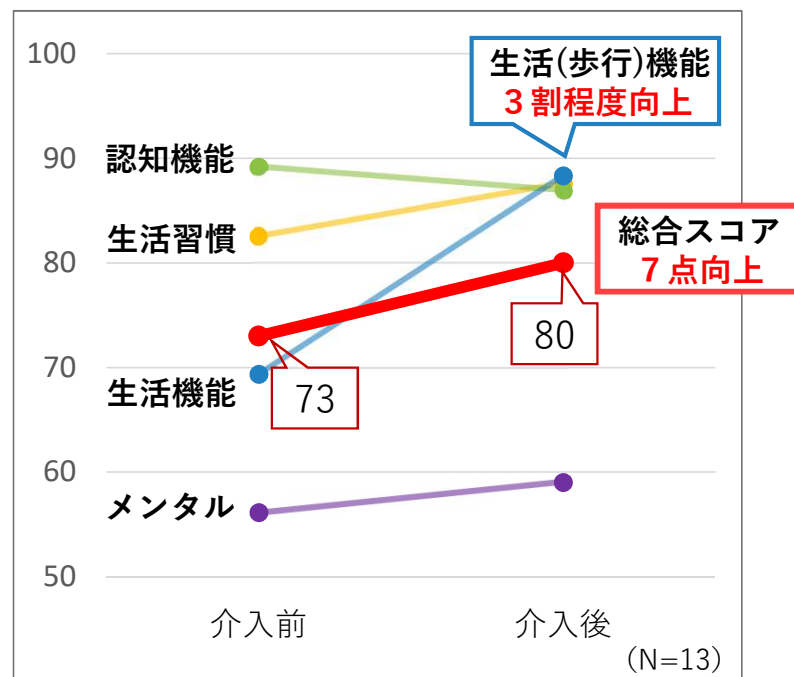
1 - 4 未病指標の成果：効果測定



CYBERDYNE(株)「湘南ロボケアセンター」
(藤沢市)

ヘルスケアロボットHAL®での
介護予防トレーニング

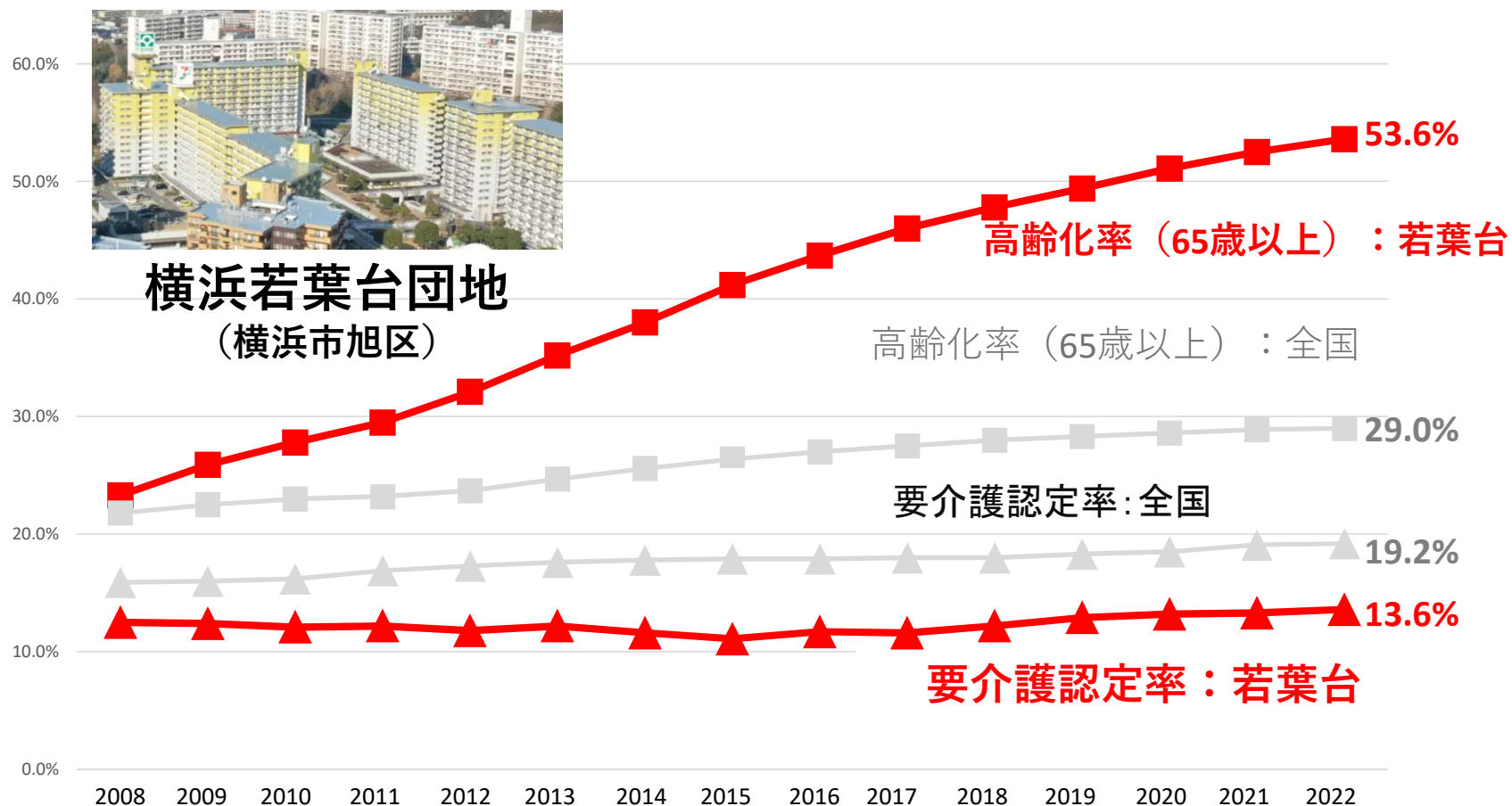
(県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール、
慶應義塾大学、湘南ロボケアセンターの共同研究)



- ・ 総合スコア向上
- ・ 生活機能の向上だけでなく、メンタル等の他の機能にも良い影響が出たことを確認

スマホで誰でも測れる未病指標で多面的な未病改善効果を実感

1-5 未病指標の成果：コミュニティの取組効果を見える化



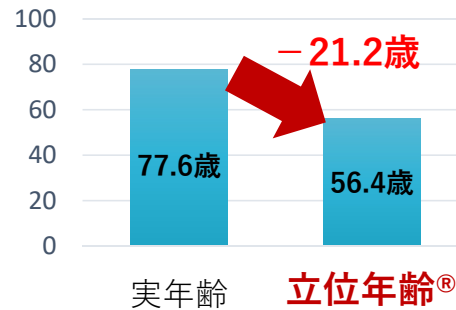
高齢化率が高まる中、要介護認定率は推移を維持

1 - 6 未病指標の成果：コミュニティの取組効果を見える化



若葉台団地の
アクティブシニア
の未病の状態を実際に
測定してみると…

転倒リスク計測装置StA²BLEによる
転倒リスクの評価指標 (N=102)



立位年齢®

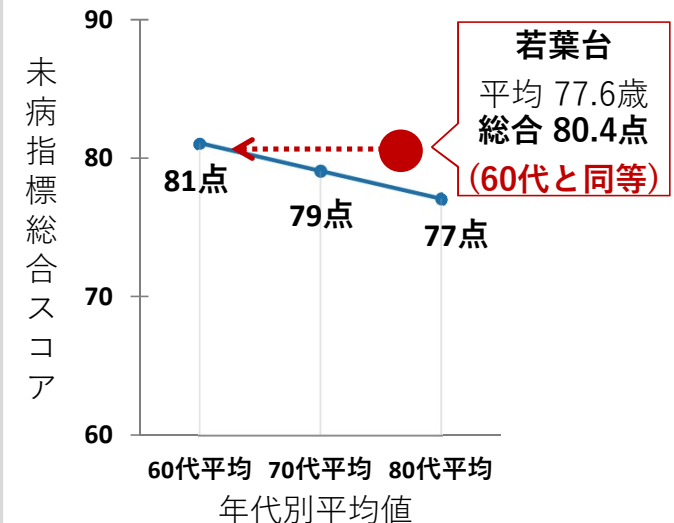
ヒトの転倒リスクの評価指標。立位年齢が実際の年齢よりも高いと転倒リスクが高いことを意味する。

(横浜国大発ベンチャーUntracked社)



未病指標×年代別平均

(N=111)

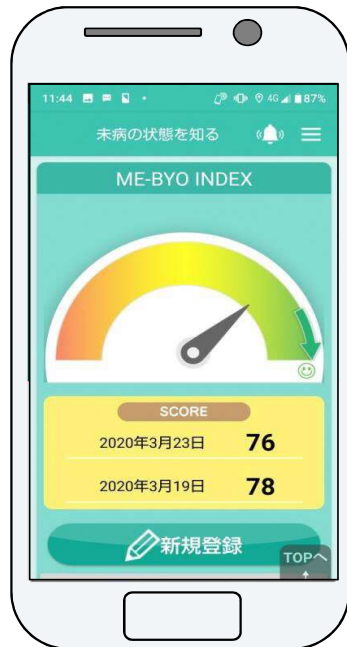


立位年齢が約20歳若く、未病指標の総合点も平均より良好

1-7 最先端の「音声による未病の見える化」

PST株式会社（神奈川県横浜市）

音声バイオマーカー



メンタルヘルス・
ストレス関連

- 音声により
心の状態を測定



ミモシス
MIMOSYS®

- ・ 音声から、ストレスを客観的にモニタリングする解析プログラム

- ・ 2015 ME-BYOブランド第1号
- ・ 2020 県の未病指標に採用



ヴォイスログ
VOISLOG®

- ・ 音声から、様々な健康リスクを可視化。

（精神機能、認知機能、睡眠機能、嚥下機能など）

音声解析技術とAIを融合する新たなプラットフォーム

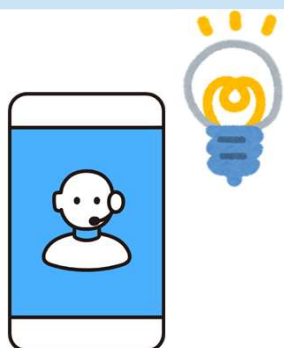
- ・ 2025.5.30 県・PST(株)で連携協定締結

2-1 未病産業研究会 (2014年当初 64社で開始)



2-2 神奈川 ME-BYOリビングラボ

未病分野の
新たな技術・サービス



機能や効果を検証する
実証フィールドが必要

実際の生活者(リビング)とともに
実証(ラボ)できる仕組み



当事者参加
の実証

科学的エビデンス
の構築

社会で活用



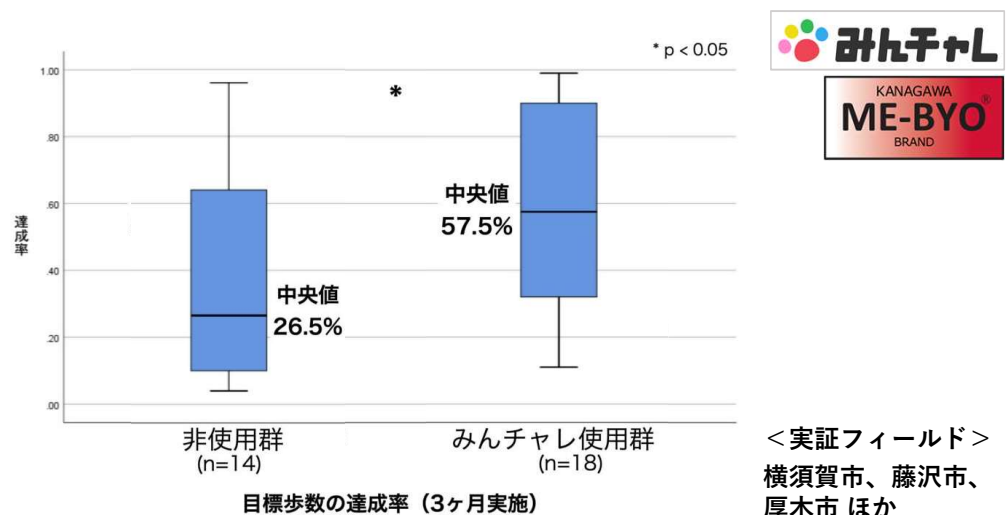
より良い製品・サービス
が社会へ

県民がより安心して未病改善に取り組める、良い未病産業の創出

2-3 神奈川ME-BYOリビングラボでの実証事例

■ 生活習慣化アプリ「みんなチャレ」

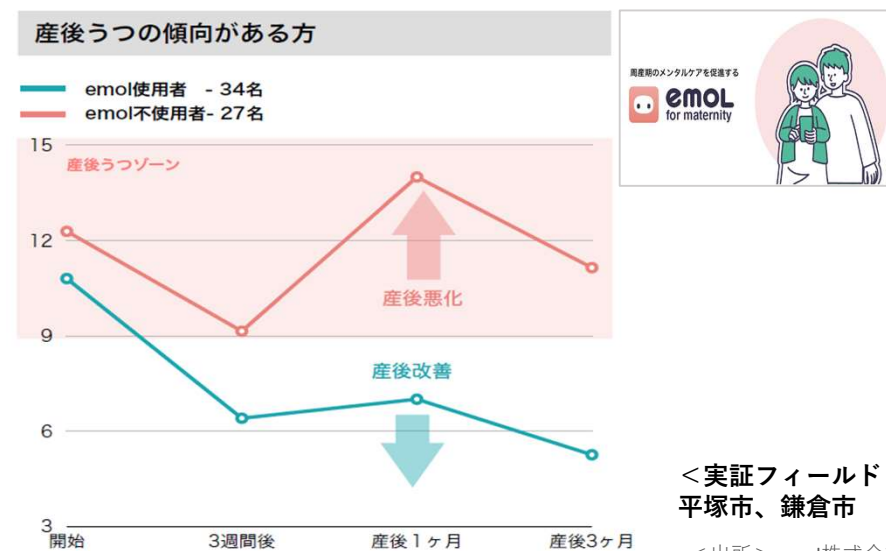
- ✓ 利用者5人1組で励まし合いながら続ける習慣化アプリ
- ✓ アプリ使用者の目標歩数達成率が2倍に増加



<出所> エーデンラボ株式会社「みんなチャレ」

■ 産後うつアプリ「emol (エモル)」

- ✓ 感情を記録してAIロボと会話するアプリ
- ✓ アプリ使用者の産後うつリスクが低減



上記エビデンスをもとに、市町村がアプリを導入

2 - 4 最先端の科学的エビデンスの未病産業



茶色い宝石[®] (腸内環境の見える化・改善)

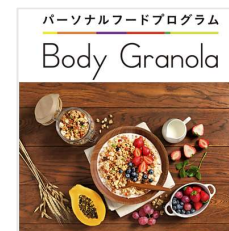
メタジェン株式会社

(本社：山形県、研究所：神奈川県川崎市)

2017年 川崎市殿町での、最先端の腸内細菌研究の支援を開始
2024年 ME-BYOブランド認定。連携協定締結。

- ・ 腸内フローラ（腸内細菌叢）のタイプに合わせたグラノーラを摂取後、短鎖脂肪酸^(※)の増加を確認 (2024年12月)

※ 基礎代謝の向上等、身体に良い影響を及ぼす代謝物質



- ・ 今後、高齢者でも摂取しやすい食品(ココア等)で同様のエビデンスを構築予定

腸内細菌からのアプローチ

生活習慣



認知機能



生活機能



メンタルヘルス・ストレス



腸内細菌を科学的に分析し、その人にあった食の未病改善を実現！

3 神奈川県狙い

社会全体で、
未病の見える化を推進

科学的エビデンスのある
未病産業を創出・育成

➡ 産業力を活用しながら、未病改善の行動変容を推進

Vibrant INOCHI

